

オンライン民謡慰問が認知症高齢者にもたらす活動意欲について

介護福祉士 大田貴子

私は、高齢者デイサービスセンターに勤務する介護福祉士です。

今回、コロナ禍であるため、利用者様にどのようなイベントを提供できるか、日常生活を維持しながら、利用者様に普段の日常の中で味わうことのできない感動を思い出してもらうことはできないか考えました。

幼少期に出会った日本民謡を通じて、現在に至るまでにたくさんの場面で民謡のもたらすもので、年配の方々との繋がりを得ることが出来ました。

高校卒業後バスガイドとして働いており、高齢の方の旅行にお供する場面もありました。私自身ガイドのキャリアが少なく、どうにか楽しんでほしいと思い歌を歌ったことが印象に残り、年配の方にとの繋がりを得ることができたということがありました。

私自身が結婚をし在宅にて姑の介護をしていくことで、私は介護福祉士としての道を歩いていくこととなりますが、姑の通うデイサービスの職員さんたちと仲良くなり、私が民謡を多少歌えるということがあり、慰問に参加させてもらったことがあり、その時の利用者さんたちの喜ぶ顔、そして姑の普段以上の笑顔と活動的な行動に驚かされたことがありま

した。

現在介護福祉士として特別養護老人ホームにて勤務するようになり、日々利用者様たちが聞いている音楽やテレビ番組など、会話をしていく中で、今の高齢者の方がたの若いころに民謡がとても身近な音楽であったことが分かりました。

そこで、民謡歌手 木津 かおり先生にご相談をし利用者様に民謡を楽しんでいただくことは出来ないかと相談をしました。

コロナ禍になり、ボランティア含め外部からの来所が出来ない今、デイサービスの中では当たり前前の日常として、提供するサービスを守ることが主になります。感染症対策をし利用者や職員の日常を確保するために、利用者様にもたくさんの協力や我慢を強いることとなります。カラオケなど利用者様が余暇活動として実施していたことが中止することとなり、利用者様も理解し日常を送っています。

そんな利用者様方の喜ぶ事、感染症対策をしながら実施できることとして、インターネットを使い民謡を施設にあるテレビを利用し生配信を実施しようという提案をしていただきました。

このシステムを使うようになり、ボランティア慰問していただくことだけでも負担をおかけしてしまうという思いがあるうえに、遠方にいると移動距離があるため、依頼そのものが出来ないことがあります。遠方においてもプロの歌手の歌を対象施設のためだけに演奏していただけるということが叶うようになりました。

これは、私たち一般の施設にとって、とても貴重なボランティアになるのです。

高齢の方、認知症のある方が多く集まる中で、密にならず声を挙げずに楽しんでいただくため、間隔をあけマスクの着用の徹底をし行いました。

今回民謡オンライン慰問を行い気が付いたことそれは、いくら音として民謡を流していても大きな変化がないということです。視覚から今現在利用者様たちにリアルタイムで話しかけている事が大切であるということです。

利用者様自身に、現在の状況を理解できるよう職員が説明をし、民謡をテレビ画面から鑑賞することで、今現在利用者様たちに配信しているという特別感が伝わります。

曲目は、民謡がまずどんな歌であるかということをお出ししていただくところから始めます。高齢の方は、言葉での説明で理解することが難しい方もたくさんいます。

曲目は思い出せないけれど、聞いてみたら表情が変わるということもあります。

一曲ずつ聞いていくうちに、利用者様自身の思い出が蘇って、その当時聞いていた歌と共に、記憶も戻ってくるようでした。

最初は地元の盆踊り歌をお願いしました。すると利用者様の中には、普段無気力で、昼間眠っていることが多い方が、慰問の歌が始まると普段ご自身から立ち上がることがなかったが、テレビの前に歩いていき、夢中になって手拍子をしていたり、認知症を患い目的

を探してあるいている方もテレビをじっと見つめ体を動かしリズムをとり、認知症や特定の障害のない高齢者の方が若いころの話を興奮気味に話してくれたり、職員が驚くほどの活動的な意欲が出てきました。

たくさんある民謡の中で、聞きなじみのあるうたを聞いていくと、皆さん活気と笑顔にあふれ、どんなりハビリ体操やレクより、自然と全身でリズムを取り体を動かしている姿がありました。

なじみのある民謡を聞き進めていくうちに、利用者様自身からリクエストが出るようになり、職員が知らない歌を教えてくれるようになりました。

私たちが、利用者様から教えていただくことで、利用者様が私たちに伝えようと、意欲がわき、この慰問が話題のきっかけにもなるのです。同じことを共有することで、利用者様と職員の距離が近くなり、信頼が生まれよりデイサービスや入所での生活に安心感が生まれてきます。

独居で生活する方、家族がいてもコロナ感染を恐れ、ご自身の居室のみで生活する方、唯一の外出と社会とのかかわりを持つ事の出来る場所は、デイサービスのみという方々にとって、デイサービスで過ごす時間は大変貴重で重要な時間になります。

身体に不調のある方の精神的安心と安定した時間の流れの中で、心穏やかな時間は高齢者の生きていく活力と、意欲向上に繋がっていると思います。